

国語科 6年間カリキュラム

	科目	国語A・B (4単位)	
	領域	知識および技能	思考力・判断力・表現力等
中 I	単元	【言葉の特徴や使い方にに関する事項】 ○ 音声の働きや仕組み ○ 事象や行為、心情を表す語句 ○ 辞書的な意味と文脈上の意味 ○ 単語の種類 ○ 指示する・接続する語句 【情報の扱い方にに関する事項】 ○ 図表と語彙、意味・根拠 ○ 情報の整理の仕方 ○ 引用や出典の示し方 【我が国の言語文化に関する事項】 ○ 言語に必要な文語のきまりや訓読の仕方 ○ 古典における作品の種類 ○ 共通語と方言 ○ 楷書 ○ 行書の基礎 ○ 読書の効果の実感	【話すこと・聞くこと】 ○ 日常生活から話題決定、材料の整理、内容の検討 ○ 根拠を明確にして話を構成 ○ 中心的・付加的な部分、事実と意見 ○ 相手の反応を踏まえた表現 ○ 能動的に聞く ○ 話題や展開を捉えた話し合い ○ 互いの発言の結びつけ 【書くこと】 ○ 日常生活から題材決定、材料の整理、伝えたいことの明確化 ○ 段落の役割 ○ 根拠の明確化 ○ 表紙や語句の用法、叙述の仕方 ○ 根拠の明確さの検討 ○ 読み手の助言 ○ 改善点を見出す 【読むこと】 ○ 中心的・付加的な部分の把握 ○ 事実と意見の関係 ○ 関係を捉え要旨の把握 ○ 場面や展開、人物の相互関係、心情の変化の把握 ○ 目的に応じた要約 ○ 場面と場面、場面と描写の解釈 ○ 構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考える ○ 考えの確かさの向上
	単元	【言葉の特徴や使い方にに関する事項】 ○ 言葉の働き ○ 話し言葉と書き言葉 ○ 抽象的な概念を表す語句 ○ 同義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句 ○ 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成 ○ 敬語の働き 【情報の扱い方にに関する事項】 ○ 意見と根拠、具体と抽象 ○ 情報と情報との関係の様々な表し方 【我が国の言語文化に関する事項】 ○ 図表 ○ 古典の見方や考え方 ○ 漢字と仮名の行書や書き方 ○ 読みやすく速く書く ○ 書体の選択 ○ 様々な立場や考え方 ○ 読書を生かす	【話すこと・聞くこと】 ○ 社会生活の中から話題を決定、材料の整理、内容の検討 ○ 根拠の適切さや論理の展開に注意 ○ 資料や機器を用いて表現や表現の工夫 ○ 論理の展開に注意して聞く ○ 話し手の考えと比較する ○ 相手の尊重した話し合い ○ 話し合って結論を導くために考えをまとめる 【書くこと】 ○ 社会生活の中から題材の決定、材料を整理 ○ 文章の構成や展開を工夫 ○ 根拠のために説明や具体例を加える ○ 表現の効果や効果の描写 ○ 表現の効果を確認する ○ 表現の工夫や効果に関する助言 ○ 意見を述べる ○ 手紙や電子メール ○ 短歌や俳句、物語の創作 【読むこと】 ○ 文章全体と部分との関係 ○ 主題と例示との関係 ○ 登場人物の設定の仕方 ○ 情報の整理、取得、内容の解釈 ○ 登場人物の言動の意味、内容の解釈 ○ 文章と図表の関係の解釈 ○ 文章の比較 ○ 文章の構成や論理の展開、表現の効果 ○ 理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを深める
中 III	単元	【言葉の特徴や使い方にに関する事項】 ○ 理解したり表現したりするために必要な語句 ○ 慣用語や四字熟語 ○ 和語、漢語、外来語 ○ 語彙を豊かにする ○ 語や文脈の種類とその特徴 ○ 言葉遣い 【情報の扱い方にに関する事項】 ○ 具体と抽象 ○ 情報の信頼性の確かめ方 【我が国の言語文化に関する事項】 ○ 古典を読む ○ 長く親しまれている言葉や古典の一節の引用 ○ 言葉の変化や世代による言葉の違い、○ 文字文化の豊かさに触れる。 ○ 効果的に文字を書く ○ 読書の意義と効用	【話すこと・聞くこと】 ○ 社会生活の中から話題を決定、材料の整理し、内容の検討 ○ 自分の立場や考えを明確にする ○ 話の構成の工夫 ○ 場の状況に応じた言葉 ○ 分かりやすく伝わるような表現の工夫 ○ 話の展開を予測しながら聞く ○ 聞き取った内容や表現の仕方を評価 ○ 進行の仕方を工夫 ○ 互いの発言を生かす ○ 合意形成に向けて考えを深める 【書くこと】 ○ 社会生活の中から題材 ○ 集めた材料の客観性や信頼性 ○ 文章の種類を選択 ○ 読得てできるような論理の展開 ○ 話の構成や表現の仕方 ○ 資料の適切な引用 ○ 自分の考えが分かりやすく伝わる文章 ○ 目的や意図に応じた表現の確認 ○ 文章全体を整える ○ 読み手からの助言 ○ 自分の文章のよい点や改善点を見出す 【読むこと】 ○ 文章の種類を踏まえる ○ 論理や物語の展開の仕方を捉える ○ 批判的に読む ○ 文章に表れているものの見方や考え方 ○ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価する ○ 人間、社会、自然について、自分の意見をもつ
	単元	【言葉の特徴や使い方にに関する事項】 ・ 言葉の働き ・ 常用漢字の読み書き ・ 我が国の言語文化に特徴的な語句や語彙 ・ 文脈 ・ 表現技法 【我が国の言語文化に関する事項】 ・ 我が国の言語文化の特徴、我が国の文化と外国の文化との関係 ・ 作品や文章の歴史的・文化的背景 ・ 文体の変化 ・ 文語のきまり、訓読のきまり、古典特有の表現 ・ 読書の意義と効用	【書くこと】 ・ 題材の決定、材料の収集・吟味、内容の検討 ・ 文章の構成や展開、表現の工夫の工夫 【読むこと】 ・ 話の構成、展開の把握 ・ 作品に表れるもの見方、感じ方、考え方を捉えて解釈 ・ 構成や展開、表現の仕方や工夫の評価 ・ 作品の成立背景や他作品との関係をふまえて解釈 ・ 作品の解釈をふまえて、我が国の言語文化について自分の考えを持つ
高 1	単元	【言葉の特徴や使い方にに関する事項】 ・ 言葉の働き ・ 話し言葉と書き言葉の特徴、役割、表現 ・ 常用漢字の読み書き ・ 実社会に必要な語句や語彙 ・ 話や文章の組み立て方、接続の仕方 ・ 修辭、直接的な述べ方と婉曲的な述べ方 【情報の扱い方にに関する事項】 ・ 情報と情報との関係 ・ 推論の仕方 ・ 情報の妥当性や信頼性の吟味 ・ 引用の仕方や出典の示し方 【我が国の言語文化に関する事項】 ・ 読書の意義と効用	【話すこと・聞くこと】 ・ 話題の設定、情報の収集・整理、内容の検討 ・ 話の構成や展開の工夫 ・ 話し方や伝え方の工夫 ・ 聞き取った情報の評価と共有 ・ 話し合いの仕方や結論の出し方の工夫 【書くこと】 ・ 題材の決定、情報の収集・吟味、内容の検討 ・ 話の構成や展開の工夫 ・ 根拠の示し方、説明の仕方、語句、表現の工夫 ・ 推敲 【読むこと】 ・ 内容や構成、論理展開の把握 ・ 情報を交互に関係づけながら解釈 ・ 文章の構成や論理展開を評価し、共有
	単元	【言葉の特徴や使い方にに関する事項】 ・ 言葉の働き ・ 論証や学術的学習に必要な語句や語彙 ・ 文や文章の組み立て方、接続の仕方 ・ 文章の構成や展開 【情報の扱い方にに関する事項】 ・ 情報と情報との関係 ・ 情報を階層化して整理 ・ 推論の仕方 【我が国の言語文化に関する事項】 ・ 読書の意義と効用	【話すこと】 ・ 題材の決定、情報の収集・整理、内容の検討 ・ 主張を支える根拠 ・ 読み手の説得 ・ 主題の明確化 ・ 文章の工夫 ・ 推敲 【読むこと】 ・ 内容や構成、論理展開の把握、要旨の把握 ・ 主題と資料との関係の把握 ・ 主張や根拠を批判的に検討 ・ 文章構成や論理展開、表現の仕方を評価 ・ 関連する文章や資料との比較
高 2・高 3 (必修・必修選択)	単元	【言葉の特徴や使い方にに関する事項】 ・ 言葉の働き ・ 情景の豊かさや信条の働きを表す語句や語彙 ・ 文学的な文章の種類と特徴 ・ 文学的な文章の表現技法 【我が国の言語文化に関する事項】 ・ 我が国の言語文化の特徴 ・ 読書の意義と効用	【書くこと】 ・ 題材の決定、情報の収集・整理、内容の検討 ・ 読み手の関心 ・ 独創的な文章の工夫 ・ 推敲 【読むこと】 ・ 内容の構成、展開、描写の仕方の把握 ・ 語り手の視点、場面設定、表現の特色の評価 ・ 文体の特徴や効果の考察 ・ 解釈の多様性の考察 ・ 作品の成立背景や他作品との関係をふまえて解釈 ・ 作品の解釈をふまえて考え方を深める ・ 複数の作品を基に、考え方を深める
	単元	【言葉の特徴や使い方にに関する事項】 ・ 古典に用いられる語句と語彙 ・ 古典の作品や文章の種類と特徴 ・ 古典の文の成分、文章の構成や展開 ・ 古典の表現の特色 【我が国の言語文化に関する事項】 ・ 我が国の文化の特徴、外国の文化との関係 ・ 文語のきまり、訓読のきまり ・ 時間の経過による言葉の変化、現代への影響 ・ 読書の意義と効用	【読むこと】 ・ 構成や展開の把握 ・ 古典特有の表現に注意して内容把握 ・ 書き手の考え・目的・意図を捉えて解釈 ・ 構成や展開、表現の特色について評価 ・ 作品の成立背景や他作品との関係をふまえて解釈、作品の価値について考察 ・ 内容や解釈を自分の知見と照らす ・ 作品に表れる考え方をふまえて考えを深める ・ 様々な古典作品を基に、考え方を深める ・ 我が国の言語文化に対する考えを深める
高 3	単元	【自選】現代文演習 (2単位) ・ 国立大学の記述式の入試問題対策、私立大学の選択式の入試問題対策を年間を通して行う。	【自選】古文演習 (2単位) ・ 私立大学の選択式の入試問題対策を年間を通して行う。
	単元	【自選】理系古典演習 (2単位) ・ 理系大学進学希望者を対象とした共通テスト対策を年間を通して行う。	【自選】発展古典演習 (2単位) ・ 国立大学の記述式の入試問題対策を年間を通して行う。

6年間指導における指導上の工夫

- 各学年、各科目において言語活動の充実を図る。
- 中学校段階から、我が国の言語文化に特徴的な語句や語彙、文法等を指導する。
- 探究学習との関連を考え、「論理国語」を必修科目とし、探究活動において必要論証や学術に関する語句や語彙、批判的に読解することについて指導する。
- 高校3学年では、複数の科目(講座)を設定し、生徒の進路希望や学習状況に合わせた指導を行う。